

平成29年度 ～サロン「きねの」～

NO.1

平成29年4月13日(木) 14:00～17:00

参加者：男性3名 女性12名

●講座 聞いてみよう緩和ケア

講師：緩和ケアチーム長 宮永太門医師

緩和ケアジェネラルマネージャー 浦井看護師

今年度、第1回目のサロン「きねの」です。部屋に入りきらないほど大盛況でした。



参加者より多数のご質問がありました

質問：痛み止めに使用する麻薬には上限がないと聞きますが、本当ですか？

宮永医師:本当です。モルヒネの安全性は確保されています。痛みの強さに応じて使えますし、量が増えたとしても効きます。

痛くない人が使用すると幻覚が出ますが、痛みがある人が使用するときには問題ありません。痛いときには、主治医の指示通り飲んでも大丈夫です。飲みすぎると眠くなるので、眠くなっても痛いときには、違う痛み止めを使います。

手術の後など身体が弱っているときには、幻覚が出る時もありますが、その時は麻薬を増やしたからではありません。

質問：胃を2/3切除したのですが、テニスをして体をひねると腸がねじれないか心配です

宮永医師:ねじれません。大丈夫です。リハビリや準備運動をして少しずつ始めてください。

運動をしたり楽しいことがあるのはよいですね。

食べられる量が少ないので補給はこまめにしてください。

質問：どういう状態の時に抗がん剤を止めたらいいですか？

宮永医師:半日以上寝込むくらいなら、抗がん剤を使用しないのは一般的です。抗がん剤を止めようと言うと患者さんは不安になるので、医師は言いにくいです。がんの種類にもよりますが、医師にも難しい判断になります。

抗がん剤を止めたら遊びに行けるようになったと言われる人もいます。



●英国式ハンドリフレクソロジー①

ソフトリフレクソロジスト 田賀藤枝さん

14時～17時と3時間かけて参加者の皆さんにハンドリフレクソロジーをしてくださいました。今年度はあと2回「きねの」に来ていただく予定です。お楽しみに♪

次回は、5/18(木) 14:00～15:30 「心とからだを癒すストレス緩和ヨガ」です。